

齋清志町長
通算4期目の町政運営スタート



齋町長の描く政策の重点プロジェクトをお知らせします

▲ 10月28日、初登庁で花束を受け取る齋町長

認めあい、支えあい、活かしあう 

 ~便利と魅力がつまった選ばれるまちづくり~ 

ひと・まち・桜が咲きほこる先進のまち

町長プロフィール

▼氏名

齋 清志(さい きよし)

▼生年月日・年齢・出身

昭和28年9月18日(67歳)

大河原町生まれ 上谷3区在住

▼趣味

囲碁(3段)、カラオケ少々、

ゴルフ

▼好きな言葉

真実一路

▼略歴

昭和52年 東京薬科大学卒業

昭和55年 (有)サイ薬局開業

平成2年 ショッピングセンター

『フォルテ』のディベロ

ッパー(株)エフエフオー

を設立。代表取締役任

就任

平成14年 仙南薬剤師会会長就任

平成16年 大河原町長(1期)

平成20年 大河原町長(2期)

平成28年 大河原町長(3期)

令和2年 大河原町長(4期)

重点プロジェクト

1 コロナ禍に関わる経済と生活への支援対策

- ① 経済支援
 - 町内事業者「おおがわら応援券」4割増支援事業
 - 医療機関等経営支援事業（医・歯・保険薬局に最大30万円）
 - 外部人材活用経営改善促進事業
 - 県の休業支援非対象事業者支援事業（減収額に応じ10万～20万円）
 - 農業経営継続支援事業（減収申請担い手支援）
- ② 生活支援
 - おおがわら商品券（町民生活応援）発行事業（全世帯に1万円の商品券給付）
 - 出産育児支援特別給付事業（4月28日以降に生まれたお子さんの父母等へ10万円給付）
 - 障がい者生活支援事業（障害者手帳保持者世帯に5千円のクオカード給付）
 - 妊婦、重度障がい者インフルエンザ予防接種助成事業（全額補助）
 - 新しい生活様式支援事業（全世帯へこみ袋1セット配布）
 - ひとり親家庭生活支援給付事業（児童

扶養手当受給者を対象に2万円給付）
③ 感染拡大防止事業やその他の事業

- GIGAスクール構想支援事業（タブレット端末全市児童・生徒配布）
- ICT教育環境整備事業（デジタル教科書・タブレットドリル）
- 家庭学習用通信機器整備補助事業（モバイルWi-Fi整備 家庭の通信環境整備）
- 学校施設水道蛇口改修事業（全蛇口レバー式に）
- 避難所感染拡大予防環境整備事業
- 議会議場感染予防整備事業
- 保育所等感染予防備蓄体制確保事業 など

2 防災・減災の充実と生活の安全確保

防災・減災は「人の生命を守る」大切な取り組みであることから、ハザードマップや地域防災計画の見直しと自主防災組織への支援と体制強化を進めます。合わせて、防災士等の資格取得を支援します。

また、コロナ禍での水害避難時には、民間企業の協力により緊急避難所や駐車場の確保を推奨してまいります。さらに、交通安全思想の普及を図り、ながら見守り隊などによる防犯対策を重点的に展開します。

3 地域コミュニティの維持と新たな自治のしくみづくり

住民自治・住民主導のまちづくりを大原則として、人と人、人と地域のつながりを大切にします。まちづくりの原点として「認めあい、支えあい、活かしあう」を今後も継承し、様々な自治を支える人づくりと仕組みづくりを推進します。

また、情報の共有に努め、協働による住民が主役のまちづくりを土台とし、全ての政策分野での基本と位置付けます。

4 地域医療体制の充実と健康づくりの普及

国・県の示す「地域医療構想」に基づく中核的病院の「重点地区指定」が発表され、仙南では財務状況の改善が急務とされる中、中核・刈田の両院が指定を受けました。中核病院は救急や外科手術などの急性期を、刈田病院は病床のダウンサイジングを行い、リハビリや透析の回復期を担い、医療機能の分化を図りながら将来の再編・ネットワーク化につなげようとするものです。

地域医療の抱える課題としては、中核病院での10月以降の分娩中止

（休止）による仙台・岩沼の病院での産科セミオープンシステムへの移行や仙南医療圏での周産期母子医療の環境の変化があげられます。昨年末には県知事及び東北大学病院長への仙南2市7町首長連名の要望活動が実施されました。人口減少への危機意識や重要な社会問題としての共通認識のあらわれによるものです。

本町は、診療所15施設、歯科診療所16施設、保険薬局16施設が存在する医療環境に恵まれた町です。また、地域包括支援センターが活発に機能し、行政区や老人クラブでの健康教室が早い時期から実施され、介護や認知症等の予防活動も盛んに行われてきました。その結果として住民の健康意識が高く、特に後期高齢者の健康診査の受診率の高さや、要介護認定率の低さなどは県下トップクラスの状態です。さらに健康寿命と平均寿命の差が男女とも県下で最も小さく、国民健康保険や介護保険も健全に運営されています。これからこの状況を維持するとともに健康寿命の延伸等を実現してまいります。

5 住み慣れた地域で暮らせる総合的福祉の展開

まちづくりの理念とも言える「認めあい、支えあい、活かしあう」を